

平田出張所便り

第23号(H23年2月7日版)

全国に誇る出雲地区の風力発電

斐伊川下流部に架かる西代橋・瑞穂橋・灘橋を日本海方面に向けて渡る時、正面の山々の尾根に何本もの風力発電の大きな風車が立っているのが目に入ります。これらの施設は、(株)新出雲ウインドファーム<(株)ユーラスエナジージャパンと(株)きんでんの共同出資>により建設されたもので、26基の風車から発生する電力の総出力は78,000kwで、運転開始した2009年4月時点で(現在も)国内最大の規模だそうです。石油等の天然資源の枯渇が懸念される中、自然エネルギーを有効活用する風力発電は今後益々普及が見込まれるところですが、巨大な施設ゆえの点検・整備や補修等、メンテナンス面では色々のご苦労があるようです。

<主要諸元>

- ①風車の直径：90m ②塔の高さ：75m ③羽1枚の長さ：44m、重量：7トン
- ④最高地上高：120m ⑤1基当たりの定格出力：3,000kw/風速15m
- ⑥風速25m以上で自動運転停止 ⑦北浜地区：20基、塩津地区：6基

北浜地区



塩津地区



<担当者からのひとこと>

近くで見る風車は巨大で迫力満点です。皆さん是非一度出掛けて見られてはいかがでしょうか。

